



## 巻頭言

宮城渡波地区振興協議会 会長 吉野 雄一

本年3月、大震災三周年が来ます。その間、特に町の復興について、役所の方々等真剣に取り組んでいただきました。その他町の人々の体のケア、そして心の復興面で一ヶ月に一回来て、奉仕活動してくれておられる機

## 傾聴ボランティア

吉川 潤

神戸からの一行は石巻を離れる最終日、「石巻ニューゼ」を訪れます。『ニュース』とフランス語で博物館を表す『ミューゼ』を合わせた言葉で「ニュース博物館」を意味します。館内には、手書き壁新聞や震災直後の石巻市、東松島市、女川町の写真や、石巻地域の百年の歩みが辿れる資料が展示してあります。

●松原町(旧渡波) ●  
今は産休ですが、「石巻ニューゼ」に勤務する谷川智香子さんの体験をお聞きました。

谷川さんは震災で、渡波の松原町に住んでいた母方の祖母、叔父を亡くしました。松原町では97名の方が亡くなり、行方不明の方も多いといいます。正確な数字はまだだれもわかっていません。住民の過半数が犠牲になるという被害は、東北三県の中でも松原町が飛び抜けています。長浜幼稚園の前には大きな公園がありました。松原町という名の通り、海岸線沿いに松林が広がっていました。「子どもの頃は、おばあちゃんと松茸取りに行っていました。(他の人に)すぐ取られちゃうからって秘密の場所に。」と懐かしそうに話されました。

震災翌日、連絡が取れなくなっていた祖母と叔父を探しに行きます。自転車は使えず、徒歩で行くしかありません。建物は流され道路にはがれきでいっぱいでした。津波の水が溜まっていて、ボラなど大きな魚が泳いでいました。祖母宅は三階

構、神戸の岩村先生他大学生さんは心ある奉仕団体です。

一年目は情報がわからず、二年目に丹野清市議より、神戸のグループを紹介されて、私たちの会の行事などに仕えてくださっています。神戸国際支縁機構のみなさんの共に生きる精神については町民より感謝されています。私どもも神戸の方々との縁を深めてつながっています。

建てでしたが、水産加工場が覆いかぶさり、基礎も残っていません。民生委員も地権者もいなくなり、全員が亡くなり、どこなのかわからなくなっています。

携帯メールに「一度自宅に戻ります。道が混んでいます。」と叔父の言葉が残っています。3時50分。津波の第3波がきたところです。その後、叔父は渡波小学校前の車の中で亡くなっていました。免許証で本人だと特定できました。

祖母は、震災から10日以上経った4月に、遺体が見つかりました。まだ雪が降っていたので、遺体の状態は悪くありませんでした。日数が経つと、本人と確定することはむずかしくなります。

祖母はどのように終章を迎えたのか知りたいと思いました。色んな人に聞いて回りました。なかなか当日の様子がわからない中、地域担当の郵便物を配達する方に写真展でまたま出会います。すると、その方は、祖母と同じ牡鹿半島の雄勝出身だったこともあって親しくしていたと言われました。お茶を出してもらったり、祖母のことをよく覚えていてくださ

いました。驚いたことに、震災当日、祖母宅に郵便物を届けて、顔を合わせておられたのです。その証言により、遺体のエプロンのポケットにあった3月11日の配達伝票が、祖母を特定する身分証明



「石巻ニューゼ」の谷川智香子さん

書となりました。

当初、火葬は順番待ちで3年はかかると言われていた。

仮埋葬していた遺体を5月に掘り起こして茶毘に付しました。祖母と叔父の内埋葬していた遺体を山形県や神奈川県鎌倉市の火葬場へ親戚が車を出してくれて、棺に入れて運びました。

松原町に家建て直して戻ってくる人もわずかです。けれども二階の屋根につかまって津波を見てしまった人や、身近に震災の恐怖を体験した人たちは「戻って来れない、戻りたくない」と感じます。住み慣れた土地を離れて、仙台やどこかへ転居される方もけっこうおられます。松原町の人たちがこの仮設住宅にいてもだれもつかめていません。仮設住宅やみなし仮設で暮らさざるを得ない人たちは、コミュニティがバラバラになってしまいました。消費税が上がる不安があります。震災はまだ終わっていないのです。



マリスト国際学校生 戸別訪問

### 【愛しく 愛しく】

謙治 今 あなたはどこにいますか  
愛する人たちのもとを 一人 はなれて  
何を思っていますか  
母はあの日から 一時も あなたの事が頭からは  
なれずに  
いつも何をしても  
謙治を思い 想い おもい...

謙治の笑顔に あいたくて どうしても あいたくて  
どこにいけば どうすれば と涙する日々  
こんなにも 悲しく 苦しいのは 我が息子を愛  
するが故  
自分の悲しみ 苦しみは なんとかでも受け入れる  
耐えがたいのは 我が子の苦しみ  
どうか 今 我が子が安らぎに満ちたところで何  
の苦しみも ありませんように 泣いていません  
ように  
光まばゆいところで 笑顔でいてくれますように  
謙治を思えば 愛しく 愛しく  
あおけんの母ちゃん

## のり収穫ボランティア

菅野 増徳(第32、33次)

楽天イーグルスがプロ野球日本一に輝いた時である。

「海苔の養殖船にはベテラン船員しか乗れない。それがルールである。しかも、繁忙期にそれを体験できる意味は大きい」と、機構代表からの説明である。

前日、マリスト国際学校の筋骨隆々のダイス先生と高校生2名が乗船。大変な労苦だと聞かされていた。メンバー交替で、村上リーダー、藤本さんと私の3名が挑戦する機会を得た。

他のグループ、稲抜き(足踏脱穀機)、沿道整備、傾聴ボランティア、収穫祭準備と分かれて宿泊。朝が早いので、昨夜に続いて、佐藤金一郎・晴美宅で、泊めていただいた。

●11月4日(月) 4時30分起床●

未練たつぷりに心地よい布団から這い出ると、湯気の上がる握り飯が用意されていた。晴美夫人が早くから起きて握ってくださっていた。米の一粒一粒に味わいがある、この上なく美味しい。そして何よりもお心遣いが御馳走であった。心身ともに暖まった3人は長靴とカッパを着込んで、海苔養殖の現場へと急いだ。

船員の皆さんと共に、トラックで港に向かう。一言二言の挨拶だけで乗り込んだ。海の男たちは口数が少なく、息詰まる。

●船上作業●

全長が12m程の平らな長方形の船体、操舵室が船尾にあるためデッキが広い。岸壁を蹴って船首から乗り込む。先ず目に入るのが大きなフォークのような物。高さは4mを超えているだろう。次に目にしたのは左舷のデッキ上に据えられたローラー。電柱を3m

位の長さに切ったような物が胸の高さで台の上に横たわっている。

どこに立てば良いのか、ここに座って良いのかさえも分からないうちに船が動き出す。港を出た船は飛ぶような速さで海上を走り、10数分で最初の筏に到着。

水深は約13m。浮き流し式栽培法と呼ばれる海苔収穫である。これはオモリと浮きで筏を固定し、その筏に目の粗い網を張って海苔を育てる。網の目は一目が官製ハガキくらい。長さが約70m(30間×18m)を2つつないだ幅33m(11尺)の網についた海苔を巻き上げて収穫する。

私はこのローラー操作をさせてもらったが、細かな調整に慣れなくて、緊張する持ち場であった。港を出てから戻るまでの約10時間、昼食も休憩の時間も最小限に抑え、冷たい海上での作業をひたすら重ねる。海の私たちの険しい顔、潮風に耐えてきたしわの中に、不慣れな私たちに対する慈しみ深い気がある。

「いい出来だ」丹野船長も仲間も表情が和らいだ。海は透明感がある。何と表現すればよいか、「軽やか」と云うべきだろうか、「明るい」と云うべきか、そんな色合いの沿海である。

「初物」と、丹野さんからひとつまみ手渡していただき、今季初の収穫を口に入れる。船の空気が一気に和やかなものに変わった。海水で塩気は濃いが、生海苔の風味と甘みがそれに勝って舌にひろがる。



船上での緊張した作業

●水産特区より伝統●

海の幸に恵まれた石巻湾、良種の海苔の味はどんな疲労もいやしてくれた。貴重な経験をさせていただいた。渡波の丹野典彦さんたちの仕事に接し、教えられた。水産特区なら企業の歯車で、朝5時から上司からのマニュアル通りに働かされる。

海の男たちはやりきれない。情熱をもって挑む誇り、海で幼い時から親に教えられてきたカーン、長年の体験から培った技術は教科書や机の上の計算では得ることはできない。

水産復興もこうした地道な伝統を引き継ぎ、活かすものであってほしい。



TAMANOHADA

代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区緑3-8-12  
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124  
URL: www.tamanohada.co.jp

### 前号訂正

記載に誤りがありました。正しくは以下の通りです。  
(誤)阿部清義大宮区長 (正)安倍清義大宮区長  
(誤)落合公江 (正)谷合公江  
読者の皆さまならびに関係各位にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。 岩村 義雄

### 感謝

事務所がある神戸市垂水区狩口台5丁目の松浦和彦医院をはじめご近所の皆さまのご好意、ご協力がありますことを喜んでいきます。事務局車輛もおかげさまで、二台駐車できたり、維持会費、支縁物資も惜しみなく応援してくださっています。

株式会社 チュチュアンナ  
代表取締役社長

上田 利昭

tutu.anna™

MiYOSHI

ミヨシ石鹸株式会社

〒130-0021  
東京都墨田区緑3-8-12  
TEL 03-3634-1341



竹中工務店

www.takenaka.co.jp

新生田川共生会

(ホームレス自立支援の会)

TEL 078-392-0327

東日本大震災以降、  
神戸国際支縁機構に協力



# 水面下に没した集落

山本 智也

追波川は岩手県を源流とする東北一の北上川の支流です。追波湾に通じる幅約100mの景観豊かな川です。追波川の河口に長面地区があります。児童74人と教職員10人が犠牲になった石巻市立大川小学校も校区です<sup>1</sup>。長面には約140世帯504人が暮らしていました。津波で家屋のほとんどが流失。犠牲者と行方不明者は104人に上ります。周辺の地域も10mを超す津波に何度も襲われました。1m近い地盤沈下で集落全体が海に沈んだのです。もう帰れない故郷。誰を恨むことも、誰に賠償請求することもできません。



水没した宮城県石巻市長面地区

静かに寝てたと思っていたら「毛布をかぶった年配の女性」が、すでにこ

と切れ、冷たくなっていたのです。水点下の気温の2日間間の過酷な野宿は、せつかく津波から逃れた一人の命を奪ってしまいました。海蔵庵の佐竹泰生住職が語ります。「震災の年の2月に川崎から戻ってきて住職になったばかりです。ちょうど2時46分、地震が来ました。寺に通じるところで階段を作ろうとしていた時です。沖の方に山みたいのが見えました。入江の中から見ると真横から見えます。山だと思っていたら波なんです。浜に何万本も植えてある松の木を乗り越えた10数メートルが襲い出します。あわてて『逃げる！』、お寺は傾きましたが、本堂はなんとか残りました。すぐに暗くなって、あの日は寒くて、雪が降っていました。檀家の大人5人、子供5人が犠牲になり、今も行方不明は大川小学校のお母さんと子供さん1名です。石油ストーブが3つあったので、お年寄りや子供が暖を取りました。道路、連絡もだめでした。3日目になると、寺は100人ほどになりますが、食べるものはないし、だれも助けにこない。今で田んぼだったところが深さ2、3mの海になっています。舟でなんとか大川、釜谷地区付近に行ってみると、子どもの遺体だらけでした。ランドセルを背負い、帽子をかぶったままで変わり果てた姿。『うちの子供はだめなんです』と言う親御さんたちがいたり、亡骸を掘り出している人たちもいる。3日目ですが、警察も消防もどこから手をつけたらいいか、わからない状況でした。炊き出しのおにぎりを持ち帰りました。ヘリコプターも着陸できませんから、ホバリングしたままで、下からつり上げるしか救助方法はなかったのです。初日は40人くらい、翌日、震災から4日目に残りの50、60人がつり上げられました。犬とか猫は航空法の関係でゲージに入れないと運べませんでした。国際法で禁じられていると理由を聞くと、『じゃ、私は残る、オレも残る』と言いつつ始末です。そこで、『私、残ります。えさをやるときです』と言ったら、皆さん、運ばれることに同意され、独りだけ残ることになりました。6日目にヘリコプターが来て、ようやく避難所に入りました。家も喪服もないから、お葬儀はできません。『お骨を預かっていただけますか』と120、130体を地区に委ねました。お寺も住む許可がおりず、仮設住宅に今もいます。檀家さんも同じ仮設住まいです。集団移転して新しい地域に住むのは、早くて2017年末頃になりま

す。家に入れるのはその翌年です。復興はほど遠いのです。

- 1 「追波川から牡鹿半島の被災地の学校を訪ねて（1）聞き取り調査」神戸国際支縁機構 岩村義雄 2011年。
- 2 『海に沈んだ故郷』堀込光子・堀込智之 連合出版 2011年 75頁。
- 3 「中日日報」（北村敏泰、佐藤慎太郎 2013年9月26日付）「東北追悼と復興の祈り 報告書」（阪神宗教者の会発行 2013年）。

## (社)神戸国際支縁機構

### ・ボランティアや移住者募集中

毎月、被災地へ赴きます。農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。詳細はホームページ。

### ・被災地への支援物資もお願いします。

### ・年会費をお願いします。

会員(年度4月～翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

### フィリピン災害緊急募金お願いします。

神戸国際支縁機構は、2001年に中東支援であるアフガニスタン、イラン、イラクの難民のために立ち上がりました。ハイチ、チリ、スマトラ、朝鮮民主主義人民共和国、中国などにも訪問したり、支援のために仕えてきました。たいしたことができなくても、地球のコミュニティの一員であることを忘れないように心がけています。

フィリピンの被災を解決するには、机の上だけでは進展しません。だれかが行動しなければなりません。勇気をもって参加する青年を歓迎します。義援金もお願いします。

事務局長 本田 寿久



Humanity First

「ヒューマニティ・ファスト」  
日本アハマディア・ムスリム協会

法律相談初回無料。  
お気軽にご相談下さい。

## 宮永法律事務所

みやながたかし 弁護士 宮永 堯史  
まつだ やすお 弁護士 松田 康生

〒650-0016 神戸市中央区橋通1-2-14

0120-997-181

TEL 078-351-1325 FAX 078-351-1270

特定非営利活動法人

みもぞ

TEL 078-262-0460

医療・保健介護・  
福祉・教育に関する事業  
共生社会の実現

不動産 売買・賃貸・管理・店舗は

本田 商会

〒662-0051 西宮市羽衣町5-23

電話：0798-38-7560

FAX：0798-38-7561

お気軽にご相談ください。



ヤマザキ

世界のパン  
ヤマザキ



夢に近づく  
夢を産み出す...

近畿産業信用組合

総合コールセンター

0120-111-019

## 連載「田・山・湾の復活」(その四)

岩村 義雄

今から約120年前のことです。石川啄木は白砂青松で書きました。「砕けてはまたかへしくる大波のゆくらゆくらに胸おどる洋」と波打ち際の波しぶきに感情が高まった詩情を残しています。

1927(大正2)年には、北上川河口から東に万石浦水道まで4kmの砂浜に約126mも松林が続いていたことが観光案内に残っています。ハンモックや帽子を無料で貸しています。海辺の店で飯一膳2銭、酒一杯2銭、漬物一皿2銭など紹介。

3・11で、高さ4mの堤防と、20mの防潮林の松並みを超えて、津波が渡波町を襲いました。1897(明治30)年に、植えられたクロマツは震災でどうなったでしょうか。

震災直後、地盤沈下で、壊れた長浜幼稚園(万石浦幼稚園に合併)付近のクロマツはヘドロを呑み込んで真っ茶色でした。長い年月、飛砂、台風、霧などから渡波を守ってきました。海岸林は堤防と違います。津波を止めることはできませんが、速度を弱めます。チリ津波(1960年)は日本を襲い、三陸で142名が犠牲になりました。日本まで17500km

も離れていても、それが22時間で到着しました。津波はつまり時速約730kmということになりま

す。ジェット機並みの速さです。



長浜海岸 奥野理恵(第25次)

渡波伊勢町の遠藤トシ江さん(83歳)は「新幹線より速くて、逃げられんないちゃ」と恐怖体験を語っています。防潮林は海岸際で津波をゆるめて人々が逃げる時間のゆとりを果たしました。他にも、津波の引き波で海に持って行かれたそうになった時、枝に服がひっかかって助かった人もいます。



枯れた長浜海岸の松

石巻市長面や、仙台市海岸公園、岩手県の名勝7万本の「高田松原」の方は木が倒れ、流木化しました。海のもくずとなり、何も残っていません。津波は襲い掛かり、幹を折るにとどまらず、根元から引きちぎ

り、根がむき出しになっています。岩手県陸前高田市は奇跡的に一本残った松を復興のシンボルとしています。松などの針葉樹は根が約45センチと浅く、天災には弱いのでしょうか。代わりに広葉樹を植えてはどうかと、広葉樹林の植樹をする運動が東北各地で起こりました。

長浜の海岸林は「マツの枯死が目立つようになつた」と研究者にも見捨てられました。不思議なことに、長浜の茶色になった松林は死んでいませんでした。2年を経て、再び新しい緑の葉が繁り始めました。生命力に驚きます。なぜでしょうか。長浜のクロマツの背景と展望を次号で探ります。

1902(明治35)年5月28日 歌人石川啄木(1886-1912)は16歳(盛岡中学五年生)の時、修学旅行で石巻市渡波長浜に立ち寄った際、記しました。

『津波災害』(河田恵昭 岩波新書 2011年 40頁)、『海岸林との共生』(中島勇喜 岡田譲 山形大学出版会 2011年 グラビア13頁)。

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口 2,000円/1年  
賛助会員は、一口 5,000円/1年

郵便振替 口座 00900-8-58077  
加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構  
三菱東京UFJ銀行  
462(三宮支店) 普通 3169863  
神戸国際支縁機構 岩村義雄

フィリッピン災害緊急募金には必ず『フィリッピン』と書き添えてください。

## 編集後記

昨年、12月31日には、第28次東北ボランティアに参加した岡山県立玉野光南高等学校サッカー部の3年生全員が破竹の勢いで全国大会に出場しました。名門の作陽高校にどうしても勝てなかった県大会を突破しました。東北ボランティアの厳しさの中で培われたチームワークが奇跡を生み出したと地元でも話題になっています。

第92回全国大会の初戦は12月31日に東北高校と対戦という縁がありました。岡山県側の応援席には大きな垂れ幕があります。「ありがとう石巻 がんばろう石巻 東北魂 光南魂ともに前進」と掲げられていました。

玉野光南高等学校は東北・岐阜に勝利、石川県星陵高校にPKで惜敗して3回戦を勝ち残れませんでした。活躍に惜しめない拍手を送りたいと思います。

事務局長

## ご協力感谢您。

(敬称略)

2013年11月1日～2014年1月15日

北川禮子、梶和彦、岩村義雄、竹駒神社、尾島淳義、山口俊郎、有川純子、酒井彰、山本智也、都倉久子、本田商会、岩村カヨ子、村上裕隆、平山武秀、平山博子、原田洋子、清野貴幸、松岡齊、近畿産業信用組合、濱岡京子、飯原洋子、西上千栄子、津田尚樹、宮本博美、高田信良、塩屋キリスト教会、北村徹、福田啓太郎、岡崎孝、本田すみ代、持橋多聞、田中操子、清洲山王宮日吉神社、金承鎬、山野英雄、甲斐田敏、ゲーベルひでみ、酒井久美子、佐々木淳、坪井伸友、前田紳詞、中道澄春、の野慶子、小野寺脩、水垣渉、森田美芽、中村信博、飛田雄一、富岡修平、保田薫、北川禮子(2)、谷谷公江、磯辺基博、野上浩平、小紫義弘、小紫悦子、株式会社チュチュアンナ、田中ひろみ、木村製治、角家永久子、藤谷昌美、古本純一郎、古本佳世子、福岡真悟、福岡ウィルシー、泉川恵理、西川一樹、在日大韓基督教神戸教会、山崎製パン株式会社、村上タカ、白瀬小一郎、保田薫(2)、左成和朗、毛藤智夫、原田洋子(2)、ヒンテルマン・旦・道子、西井理加、忍ヶ丘キリスト教会、KISO牧場、中山敬一郎、株式会社竹中工務店、穴戸紀彦、水谷弥生、岡野彩子、新井俊一、中田光信、尾島淳義(2)、鈴木淳之介、内貴八郎右衛門、小島芙美子、上田進、廣森勝久、廣森孝子、永野由子、貞松・浜田バレエ団・学園、神戸国際キリスト教会

合計 887,240円

## 餅つき大会のために、支援物資を感謝します。

光円寺後藤由美子、鴨川正昭、高橋しょう油店、藤丸秀浄、西福寺、小島芙美子、岸本豊

当日に株式会社チュチュアンナからたくさんの女性衣類が提供されました。

## フィリッピン災害緊急募金

神戸国際キリスト教会、岩村義雄、岡本玲子、小島芙美子、守屋香代子

合計 25,000円